

製図の基本を理解し、設計意図を伝えるテクニックを学ぶ

「図解力向上と最新JIS製図」講座

受講対象

新人～入社5年目ぐらいの技術者。あるいはトレーサー、CADオペレータの方。生産技術者や加工現場の作業員。また、購買・営業などの実務で図解読解力が必要な方。

※受講生には、書籍「図解力・製図力 おちゃのこさいさい 一図面って、どない描くねん! LEVEL0」を呈呈します。

日時 2024年5月30日(木) 10:00～17:00 (9:30 受付開始)

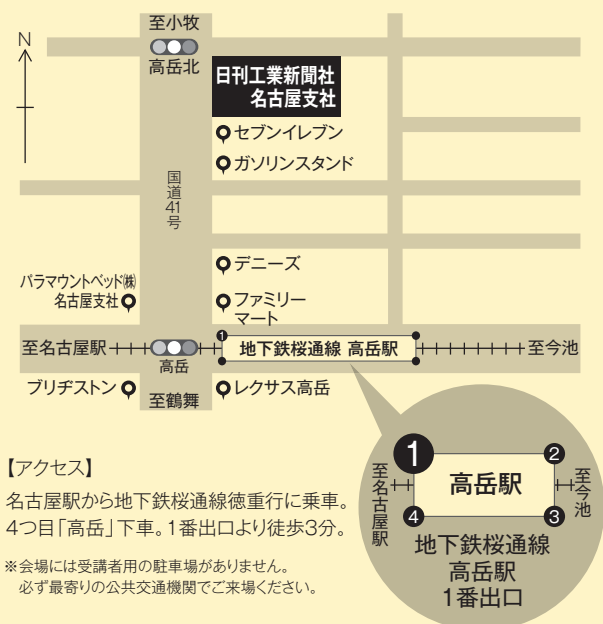
※昼食のご用意がございませんので、ご準備いただくか休憩時間内に外食いただきますようお願い申し上げます。(休憩時間の会場内飲食は可能)

会場 日刊工業新聞社 名古屋支社 セミナールーム 名古屋市東区泉2-21-28

受講料 48,400円 (資料含む、消費税込)

※日本金型工業会、中部プラスチック連合会の正会員の方は15%割引とさせていただきます。

日刊工業新聞社 名古屋支社 会場案内図



【アクセス】

名古屋駅から地下鉄桜通線徳重行に乗り、4つ目「高岳」下車。1番出口より徒歩3分。

※会場には受講者用の駐車場がありません。必ず最寄りの公共交通機関でご来場ください。

セミナー申込を検討中の皆さまへ

新型コロナウイルス感染症に伴うセミナー開催及び対応について、弊社WEBサイトにてご確認ください。

<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/view/3693>

受講にあたり

開催決定後、受講票並び請求書をご郵送いたします。

申込者が最少催行人数に達していない講座の場合、開催を見送りとさせていただきます。(担当者より一週間前を目途にご連絡致します。)

お申し込み方法

ホームページ (<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>) または、下記申込書をご記入のうえFAXにてお申し込みください。

受講料

セミナー開催日までに銀行振込にてお支払いください。

振込手数料は貴社でご負担願います。

キャンセルポリシー

開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。

申込・問合せ

日刊工業新聞社 名古屋支社 イベントG

TEL 052 (931) 6158 (直通) FAX 052 (931) 6159

受講申込書

5/30 JIS製図

お申し込みは <https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>

会社名	フリガナ	業種	
氏名	フリガナ	TEL	
	部署・役職	FAX	
所在地	〒	E-mail	※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は <input type="checkbox"/>
備考			<input type="checkbox"/> 日本金型工業会正会員 <input type="checkbox"/> 中部プラスチック連合会正会員

個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。

なお、メールの宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。【連絡先】日刊工業新聞社 dbopr03@nikkan.tech

郵送による宛先変更・発送停止をご希望の際は、本紙を封入していた封筒のダイレクトメールの調査欄をご記入の上、本ページ中央部右下に記載の[申込・問合せ]連絡先へFAXにてご連絡ください。

No.247525

開催主旨

本セミナーは、“わかりやすく、すぐに役立つ図面の基礎”を習得してもらうことを目的としています。

2次元CADおよび3次元CADの普及により、従来に比して図面を描く作業は効率化しています。そんな中、アナタの設計は、線と線をつなぎ合わせて描いた、あるいは、従来図面をパラメトリックに編集(変形)したのみの「成り行きのカタチ」になっていませんか？ 機能および(その結果としての)形状をきちんと理解しなければ単なるカタチであり、重量増によるコストアップや強度不足、累積公差による品質低下を招きかねません。設計者の根拠と意図を込めた図面を作成し、モノづくりに関わるすべての方に提示しなければ、正しいモノづくりができません。

本セミナーでは、JIS製図法から投影図の表し方、寸法記入の考え方まで基礎を徹底的に指導します。多忙な設計業務において、OJTで製図の作法を学ぶのが難しい時代となっており、日常的に抱えている図面の描き方への“アタマのモヤモヤ”を解消する絶好の機会となるはずですよ。

また、JIS製図法はISO(国際規格)に準拠したかたちで改定がなされており、世界に通用する図面を描くためには、図形をアタマの中で整理し、かつ、それへの理解が必須です。これらからの設計業務の質を一段とアップするために、新人～若手設計者、製図の基本を見直したい方はもちろん、トレーサー(CADオペレーター)の参加を広くオススメいたします。

☆受講効果

- ①機械設計者として図面に意志を入れるための最低限の知識が得られます。
- ②演習を通じて、機械設計者としての思考力を向上することができます。
- ③思考力を支える図解力と製図力を向上することができます。
- ④図解力を高めるアイデア発想力と図面を読む力が身につきます。
- ⑤そして、上司や先輩も正しく理解していない製図作法が学習できます。

講師

株式会社リッジリフト 代表取締役 **今井 誠 氏**

【略歴】 大学卒業後、機械系メーカーや特許事務所を経験の後、2020年に「やなか技術士事務所」代表として独立。2023年に株式会社リッジリフトを設立し、代表取締役に就任。

型彫放電加工において、微細深穴加工、超硬材や脆性材の加工技術の開発を行うとともに、型彫放電加工においてネックであった生産性の低さを、電極の成形時間及び再整形時間に着目し、WEDG法(ワイヤー放電加工の一種)を活用することでこれらの時間を短縮し、生産性の向上を図る。WEDG法を導入するにあたっては、型彫放電加工機に設置するためのWEDG装置を発案、設計、製作、評価までを一貫して担当している。

また、工業用ダイヤモンド、サファイア等の工業用宝石の加工方法等の開発経験から、幅広い加工技術及び社内加工設備の設計、試作、評価までの製造技術全般を得意としている。

近年では、3Dプリンターに着目し、FDM型及びSLA型の3Dプリンターの導入経験及び3Dプリンターについて広く知識を有しており、企業等における3Dプリンターの導入支援を行っている。

また、知財業界での経験から知財全般の知識も有しており、知財に関する相談も受けている。

日本技術士会(正会員)、千葉工業大学技術士会(理事) 資格: 技術士(機械部門)、エックス線作業主任者、研削といし特別教育、3次元CAD利用技術者試験2級、3Dプリンター活用技術検定

プログラム

1. 図形の理解とJISの基本

- ①設計と図面の役割
- ②実力診断テスト
- ③JISの決まりごとと第三角法
- ④図解力向上(立体⇄投影図)

*演習:フリーハンドによる立体・投影図の練習

2. 投影図の表し方と寸法記入

- ①投影図の決まりごとと最適な投影図の選定
- ②寸法記入の決まりごと
- ③ISOに準拠したねじ製図の変更点

*演習:フリーハンドによる寸法記入練習

3. 寸法記入の考え方

- ①寸法の配置と普通許容差
- ②JISの定める寸法記入原則
- ③設計意図を表わす寸法配列

4. まとめ

- ①実力確認テストと解説
- ②質疑応答など

※随時、演習を行いますので筆記用具は忘れずに!

※定規と4色ボールペンがあると望ましいです。

※方眼紙は事務局で用意します。

※本講座はラブノーツの許可を得て行うもので、ラブノーツ代表の山田学氏の講座と同一内容です。